

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第14期5月度理事会議事録

I. 日 時：平成29年5月14日（日）13:15～16:40

II. 場 所：東京都港区 建築会館308会議室

III. 出席者数：理事総数19名 出席理事数19名

IV. 出席理事氏名：武見ゆかり（理事長・議長）、鈴木公（副理事長）、赤松利恵、荒川義人、石田裕美、上西一弘、笠原賀子、川久保清、川島由起子、酒井徹（第64回学術総会会長）、下浦佳之、瀧本秀美、塚原丘美、名和田清子、新澤祥恵、南久則、村山伸子（第65回学術総会会長）、八木典子、由田克士

出席監事氏名：鈴木和春

V. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、名和田清子理事及び南久則理事を選任することを全員異議なく承認した。

VI. 審議事項 ※（ ）は提案説明者

【I. 庶務関連事項】

1. 役員・評議員の異動（川島庶務担当理事）
2. 会員の異動（川島庶務担当理事）
 - （1）正会員の休会
 - （2）NPO第14期会員の状況
 - （3）協力会員の異動
3. 名誉会員及び終身会員候補者の推薦（武見理事長）
4. 栄養学雑誌編集委員会の運営に関する申し合わせの改定（川島庶務担当理事）
5. 平成29年度通常総会・評議員会の準備（川島庶務担当理事）
6. 今後の会議予定（川島庶務担当理事）

【II. 財務関連事項】

1. NPO第14期経費執行状況と見込決算（塚原財務担当理事）

【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告（上西編集担当理事）

【IV. 学術関連事項】

1. NPO第14期事業執行状況（赤松学術担当理事）
2. 平成29年度功労賞・学会賞・奨励賞（武見理事長）
3. 第64回学術総会準備状況（酒井第64回学術総会会長）
4. 第65回学術総会準備状況（村山第65回学術総会会長）
5. 第66回学術総会会長候補者の推薦（新澤理事）
6. 「健康な食事」推進のための取組（赤松学術担当理事）
7. 厚生労働省「平成29年度管理栄養士専門分野別人材育成事業」の受託（武見理事長）
8. 関連学協会等との連携（回覧資料）
 - （1）CKD啓発イベント講演会「実践的なCKD対策：学際的連携と協働」への参加
 - （2）平成29年度全国公衆衛生関連学協会連絡協議会総会への参加
 - （3）生活科学系コンソーシアム事業（第10回総会・第21回会議）への参加

- (4) 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構「ILSI Japan健康な食事研究会アドバイザー委員会」委員の就任
- (5) 「減塩の日」申請に対する賛同と決定報告
- (6) 「第6回日本DOHaD学会学術集会」後援
- (7) 「YAKUZEN EXPO 2017」後援
- (8) 公益社団法人日本栄養士会「栄養の日・栄養週間2017」後援
- (9) 独立行政法人日本学術振興会「第14回（平成29年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦」周知協力
- (10) 独立行政法人日本学術振興会「第8回（平成29年度）日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦」周知協力
- (11) 独立行政法人日本学術振興会「若手研究者海外挑戦プログラム」周知協力
- (12) 一般財団法人東京顕微鏡院「遠山椿吉記念 健康予防医療賞」周知協力
- (13) 公益財団法人ロッテ財団「食と健康分野の若手研究者対象の研究助成公募」周知協力
- (14) 日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会の学会名改称報告

【V. 広報関連事項】

- 1. ホームページ更新報告（酒井広報担当理事）
- 2. 会員向け広報活動の充実—メールマガジン・会員専用ページ—（酒井広報担当理事）

【VI. 国際関連事項】

- 1. IUNSワークショップ開催報告（村山国際担当理事）
- 2. 栄養改善事業の国際展開プラットフォーム事業（村山国際担当理事）
- 3. 栄養学雑誌サプリメント「日本とアジア・アフリカの学校給食に関する研究と発信」（村山国際担当理事）
- 4. 日韓シンポジウム2017（村山国際担当理事）
- 5. ICN2021（村山国際担当理事）

【VII. 支部会活動】

- 1. 支部長会議の開催準備（武見理事長）
- 2. 支部会活動報告
 - (1) 北海道支部会（荒川理事）
 - (2) 東北支部会（笠原理事）
 - (3) 関東・甲信越支部会（石田理事・関東・甲信越副支部長）
 - (4) 北陸支部会（新澤理事・北陸支部長）
 - (5) 東海支部会（塚原理事・東海支部長）
 - (6) 近畿支部会（由田理事・近畿支部長）
 - (7) 中国支部会（名和田理事）
 - (8) 四国支部会（酒井理事・四国支部長）
 - (9) 九州・沖縄支部会（南理事・九州・沖縄支部長）

【VIII. NPO第15期事業計画案及び予算案】

- 1. NPO第15期事業計画案及び予算案の骨子（武見理事長）

【IX. 回覧資料による各種報告】

- 1. 学会誌転載許諾
 - (1) 一般財団法人日本口腔保健協会

(2) 国立大学法人筑波大学（機関リポジトリ）

2. 複写にかかる著作権使用料の分配報告

(1) 特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会

Ⅶ. 議事の経過の概要及び議決の結果

【Ⅰ. 庶務関連事項】

1. 役員・評議員の異動・・・5月11日現在の役員名簿、ならびに5月10日現在の支部会別評議員名簿が配付された。評議員は、平成29年3月31日付で金子俊、北野隆雄、土橋昇の3名が退会し、現在は431名であることが報告された。

2. 会員の異動

(1) 正会員の休会・・・正会員1名から休会届が提出され、これを承認した（会員に関する細則第4条）。なお休会会員の氏名は個人情報保護の立場から非公開とする。

(2) NP0第14期会員の状況・・・5月9日現在の支部会別会員数（都道府県別付き）が配布され、今期も会員減であることが報告された。理事長は昨年の評議員会で、全評議員1名の会員獲得の依頼と、理事長自身は10名の会員獲得に尽力する旨、発言した。本年5月に理事長から全評議員へ、個別に会員獲得の依頼をメールで発信したところ、全国の評議員から反響が届いている旨、説明があった。

(3) 協力会員の異動・・・5月11日現在の協力会員名簿（21社・21口）により報告された。

3. 名誉会員及び終身会員候補者の推薦・・・4月16日の名誉会員・終身会員推薦委員会の結果、名誉会員候補者として加藤秀夫氏、伊達ちぐさ氏の2名を、終身会員候補者として大越ひろ氏、押野榮司氏、渋谷まゆみ氏、新城澄枝氏、中川靖枝氏、藤崎美奈子氏、政安静子氏の7名を、評議員会・通常総会に推薦することを承認した。なお、終身会員候補者の資格該当者で、候補者となることを確認中の者が1名あり、承諾を得られれば次回理事会に推挙することが補足された。

4. 栄養学雑誌編集委員会の運営に関する申し合わせの改定・・・原案を承認した。承認された申し合わせは別紙のとおりである。

5. 平成29年度通常総会・評議員会の準備・・・原案を承認した。

6. 今後の会議予定・・・平成29年5月以降の会議予定が配布された。主な予定は次のとおりである。

〔総会〕 9月13日

〔評議員会〕 9月13日

〔理事会〕 8月26日

〔監事会〕 8月26日

〔役付理事打合せ〕 7月1日

〔次期理事長・副理事長選出理事会〕 7月1日

【Ⅱ. 財務関連事項】

1. NP0第14期経費執行状況と見込決算・・・4月30日現在の経費執行状況（活動計算書、事業別損益計算の状況、貸借対照表、収支計算内訳書）、第63回学術総会会計報告、年度末見込計算書が配付され、これを了承した。理事長から、当期見込収支差額は890万円程度の支出超過（予算は1,200万円の支出超過）であるため、最終決算時の状況に応じて、会務積立基金の一部取り崩しを行うことが提案された。これについて、税理士の指導を受けて実施することを確認

し、理事長、副理事長、財務担当理事に一任することを承認した。

【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告・・・4月30日現在の投稿論文の受付・審査状況、雑誌刊行状況が配付資料により報告された。実践活動報告の充実を目途に、昨年10月に投稿規定と執筆要領を改定し、本年1月から施行しているが、その主旨が周知されていない様子であることが瀧本理事（編集委員長）から補足され、第64回学術総会で理事長から会員に説明する時間を設けたことが紹介された。

【Ⅳ. 学術関連事項】

1. NP0第14期事業執行状況・・・4月30日現在の事業執行状況が配付資料により報告された。
2. 平成29年度功労賞・学会賞・奨励賞・・・4月28日に開催した学会賞等選考委員会の報告を受け、平成29年度の受賞者を次のとおり決定した。理事長から、候補者の推薦について広く呼びかけたが、今回も少なかった（特に実践活動者の推薦がなかった）ことについて発言があった。

功労賞 該当者なし

学会賞 笠岡（坪山）宜代

奨励賞 新保みさ、竹林純

3. 第64回学術総会準備状況・・・プログラムの概要が配布された。5月11日まで締切を延長して募集した一般演題の登録数は630程度であること、協賛の申込が例年より少ないこと、などが報告され、協賛企業の紹介、参加の呼びかけなど、理事会も積極的に協力することとした。また前回理事会で承認された、本部から会計ソフトを提供することについて、64回学術総会から導入したことが報告され、会計ソフトを利用した5月12日現在の貸借対照表、損益計算書が配布された。学術総会会計は、この方法を継続することを確認した。

4. 第65回学術総会準備状況・・・準備状況が配付された。学術総会副会長には石見佳子関東・甲信越支部長、入山八江新潟県栄養士会長が承認され、参加費は次のとおり承認した。

〔参加費〕 事前登録：正会員9,000円、学生会員3,000円、日本栄養士会会員11,000円

当日登録：正会員11,000円、学生会員4,000円、日本栄養士会会員13,000円、
学生（学生会員以外）6,000円、前述以外の者15,000円

〔懇親会費〕 事前登録：8,000円、当日：10,000円

5. 第66回学術総会会長候補者の推薦・・・次のとおり評議員会・通常総会に推薦することを承認した。

学術総会会長 竹内弘幸富山短期大学教授

会期と会場 平成31年（2019年）9月5日～7日 富山市・富山県民会館ほか

担当支部会 北陸支部会

6. 「健康な食事」推進のための取組・・・日本給食経営管理学会、日本栄養士会勤労者支援事業部との3団体連携による事業の進捗状況が配付資料により報告された。第3回3団体打合せ会議を5月25日に予定し、認証基準案の詳細を詰める予定との報告があった。

7. 厚生労働省「平成29年度管理栄養士専門分野別人材育成事業」の受託・・・平成29年3月30日付で厚生労働省健康局長から平成29年度管理栄養士専門分野別人材育成事業の実施について委託する旨の通知があり、5月2日付で同事業の委託費の交付申請書類を提出したことが、配付資料により報告された。理事長から本事業専任の職員を任期雇用したい旨提案があり、履歴書が回覧され、これを了承した。この事業は、本学会が委託された「教育養成領域での人材育成」と、

日本栄養士会が委託された「実践領域での専門人材育成」の、2本の柱から成る。事業の円滑な実施と効果的な成果に資するため、本学会では日本栄養士会長を検討の会議のオブザーバーに招聘したことが補足された。

8. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これを了承した。

- (1) CKD啓発イベント講演会「実践的なCKD対策：学際的連携と協働」への参加
- (2) 平成29年度全国公衆衛生関連学協会連絡協議会総会への参加
- (3) 生活科学系コンソーシアム事業（第10回総会・第21回会議）への参加
- (4) 特定非営利活動法人国際生命科学研究機構「ILSI Japan健康な食事研究会アドバイザー委員会」委員の就任
- (5) 「減塩の日」申請に対する賛同と決定報告
- (6) 「第6回日本DOHaD学会学術集会」後援
- (7) 「YAKUZEN EXPO 2017」後援
- (8) 公益社団法人日本栄養士会「栄養の日・栄養週間2017」後援
- (9) 独立行政法人日本学術振興会「第14回（平成29年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦」周知協力
- (10) 独立行政法人日本学術振興会「第8回（平成29年度）日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦」周知協力
- (11) 独立行政法人日本学術振興会「若手研究者海外挑戦プログラム」周知協力
- (12) 一般財団法人東京顕微鏡院「遠山椿吉記念 健康予防医療賞」周知協力
- (13) 公益財団法人ロッテ財団「食と健康分野の若手研究者対象の研究助成公募」周知協力
- (14) 日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会の学会名改称報告

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ更新報告・・・5月11日までの更新情報が配付資料により報告された。
2. 会員向け広報活動の充実－メールマガジン・会員専用ページ・・・進捗状況が配付資料により報告された。メールマガジンのタイトルはJSNDメールニュースに決定した。メールマガジン、会員専用ページともに、本年秋（10月頃）の開始をめざして準備を進めることを承認した。

【VI. 国際関連事項】

1. IUNSワークショップ開催報告・・・3月7日から9日に開催したワークショップについて、配付資料により報告された。
2. 栄養改善事業の国際展開プラットフォーム事業・・・「平成28年度栄養改善推進事業におけるインドネシア女性の栄養状態基礎調査」の概要が回覧資料により報告されたほか、同調査報告書の公開、同事業の運営委員会の参加について配付資料により報告された。
3. 栄養学雑誌サプリメント「日本とアジア・アフリカの学校給食に関する研究と発信」・・・準備状況と、64回学術総会でシンポジウムを企画していることが配付資料により報告された。
4. 日韓シンポジウム2017・・・本年はソウル市で「高齢者の栄養管理」をテーマに開催されることが配付資料により報告された。
5. ICN2021・・・5月20日に沖縄で組織委員会が開催される。学術担当に村山国際担当理事が就任する予定であることが報告された。

【VII. 支部会報告】

1. 支部長会議の開催準備・・・9月13日にアスティとくしまで、会議を開催する予定であることが配付資料により報告され、これを了承した。

2. 支部会活動報告

(1) 北海道支部会・・・第15回支部会学術総会は、菊地和美藤女子大学教授を学術総会会長とし、12月16日に市民公開講座とともに開催する。

(2) 東北支部会・・・吉池信男青森県立保健大学教授が支部長を辞任し、笹田陽子盛岡大学教授が支部長職務代行者に選出された。6月の総会に向けて組織体制を整えている。

(3) 関東・甲信越支部会・・・第4回支部会学術総会は、池本真二聖徳大学教授を学術総会会長とし、2月12日に聖徳大学で開催した。3月から実践栄養学研究セミナーを開催、次回は6月を予定している。8月5日に市民公開講座を、第5回支部会学術総会は岡純東京家政大学教授を学術総会会長とし、来年2月～3月に開催する。

(4) 北陸支部会・・・第12回支部会学術総会は、北山富士子福井県栄養士会長を学術総会会長とし、2月19日に福井県国際交流会館で市民公開講座とともに開催した。同日の幹事会で、第66回学術総会会長候補者を選出した。

(5) 東海支部会・・・第6回支部会学術総会は、安藤明美愛知学泉大学教授を学術総会会長とし、6月25日にウインクあいちで市民公開講座とともに開催する。来期から実践栄養学研究セミナーの実施を計画している。

(6) 近畿支部会・・・実践栄養学研究セミナーSTEP2を開催する。実践栄養学研究セミナーの主旨を鑑み、明らかに学位論文を目的とした受講希望者については、受講をお断りした。第16回支部会学術総会は、東根裕子大阪青山大学教授を学術総会会長とし、11月19日に大阪青山大学で開催する。支部会独自のホームページの開設を検討している。

(7) 中国支部会・・・第13回支部会学術総会は、木村要子広島国際大学准教授を学術総会会長とし、7月8日～9日に広島国際大学で市民公開講座とともに開催する。

(8) 四国支部会・・・第4回支部会学術総会は、竹谷豊徳島大学教授を学術総会会長とし、6月24日に徳島大学で市民公開講座とともに開催する。四国支部会の評議員は9割が徳島県所属で、支部会活動に課題を感じている。

(9) 九州・沖縄支部会・・・第5回支部会学術総会は、南久則熊本県立大学教授を学術総会会長とし、11月25日に熊本県立大学で市民公開講座とともに開催する。若手の発表賞を新設する。6月10日に中村学園大学で開催されるフードシステム学会2017年度大会で、本支部会が共催シンポジウムを行う。

各支部会からの活動報告がされた後、報告内容は文書を用意して欲しい旨、理事長から発言があり、次回理事会から準備することを確認した。

【VIII. NPO第15期事業計画案及び予算案】

1. NPO第15期事業計画案及び予算案の骨子・・・事業計画案と予算案の概要が配付され、これを了承した。今期の決算見込に続き、来期も約1,000万円の支出超過予算となっている。理事長から、学会活動を積極的に展開するためにも、安定した財政基盤は重要であり、会費の改定を検討したい旨、発言があった。学会組織がNPOに移行したNPO第2期から前期（NPO第13期）までの決算と、過去5年間の主要事業費（栄養学雑誌刊行事業費、支部事業費）・管理費と会員数について、資料が配付された。会費の改定について、まず出席者全員の発言を求めた。主な発言は次のとおりである。会費の改定は極めて重要な事項であるため、時間をかけて検討することを確認した。また、平成29年度の評議員会、通常総会では、現状について会員の理解が得られるよう、丁寧に説明することとした。

〔会費の改定に対する発言〕

- 前回の会費の改定から、およそ20年が経過し、この間、消費税率の改定もあった。改定はやむを得ない。
- 会費の改定直後は、会員の減少が懸念される。本学会の規模（会員数、財政規模）についての検討（ビジョン）が重要である。
- NPO第5期以降、会員減の状況が止まらないが、学会の資産（内部留保）がある間は慎重に考えた方がよい。
- 会員への説明が重要。
- わかりやすい学会員の「メリット」について、あわせて検討すべき。
- 改定の時期は、社会（景気）情勢も考慮して検討した方がよい。
- 他学会の会費と比較し、現会費の改定は、やむを得ない。
- 会員のニーズに学会が応えられているかの検討も重要。

【IX. 回覧資料による各種報告】

1. 学会誌転載許諾・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
 - （1）一般財団法人日本口腔保健協会
 - （2）国立大学法人筑波大学（機関リポジトリ）
2. 複写にかかる著作権使用料の分配報告・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
 - （1）特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会

以上